

稲作だより

第8号

令和5年7月5日発行
山形おいしさ極める！
米づくり日本一プロジェクト
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8287

**高温により生育量は回復！出穂は平年並みの予想！！
生育診断を行い、穂肥は適量を遅れずに散布しましょう！**

【管内の生育状況（6/30 普及課調べ）】

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (寒河江市高屋)	本年	48.5	769	9.7	42.2
	平年	49.7	758	9.6	43.6
	平年比	98 (並み)	101 (並み)	+0.1 (並み)	-1.4 (やや淡い)
つや姫 (寒河江市高屋)	本年	45.4	655	9.4	40.7
	平年	46.3	588	9.7	40.4
	平年比	98 (並み)	111 (多い)	-0.3 (やや少ない)	+0.3 (並み)
雪若丸 (寒河江市寒河江)	本年	35.9	668	9.4	40.1
	平年値	38.5	642	9.6	44.8
	平年比	94 (短い)	104 (やや多い)	-0.2 (並み)	-4.7 (淡い)

・移植日は「はえぬき」「つや姫」5/17、「雪若丸」5/23

☑ 中干しを行っていない圃場は、直ちに中干しを行い、根の活力向上を図りましょう。

【穂肥】

- ☑ 中干し後、基準量の範囲内で行いましょう。
- ☑ 生育量が過剰な場合は、窒素成分量を 0.5～1kg/10a 減らしましょう。
- ☑ 玄米タンパク質含有率が高まることを防ぐために、遅れずに追肥を行いましょう。

品種毎の穂肥時期・量の目安（N成分 kg/10a） 7月4日普及課調べ

地域・品種	移植日	出穂期 (予想)	出穂 30日前	出穂 25日前	出穂 20日前	出穂 15日前
あきたこまち*	5月20日	7月31日	-	-	7月11日 1.0～1.5kg	-
ひとめぼれ*	5月20日	8月2日	-	-	7月12日 1.0～1.5kg	-
はえぬき	5月17日	8月3日	-	7月9日 1.0～1.5kg	-	-
平坦	雪若丸	5月15日	8月1日	-	7月7日 1.0～1.5kg	-
	雪若丸	5月23日	8月6日	-	7月12日 1.0～1.5kg	-
つや姫	5月17日	8月6日	7月6日 1.0～1.5kg	-	-	-
コシヒカリ*	5月20日	8月7日	-	-	-	7月23日 1.0～1.5kg

※農業総合研究センター調べ（7月3日）

○7/4 時点で「はえぬき」、「雪若丸」、「つや姫」まで幼穂を確認（普及課調べ）。

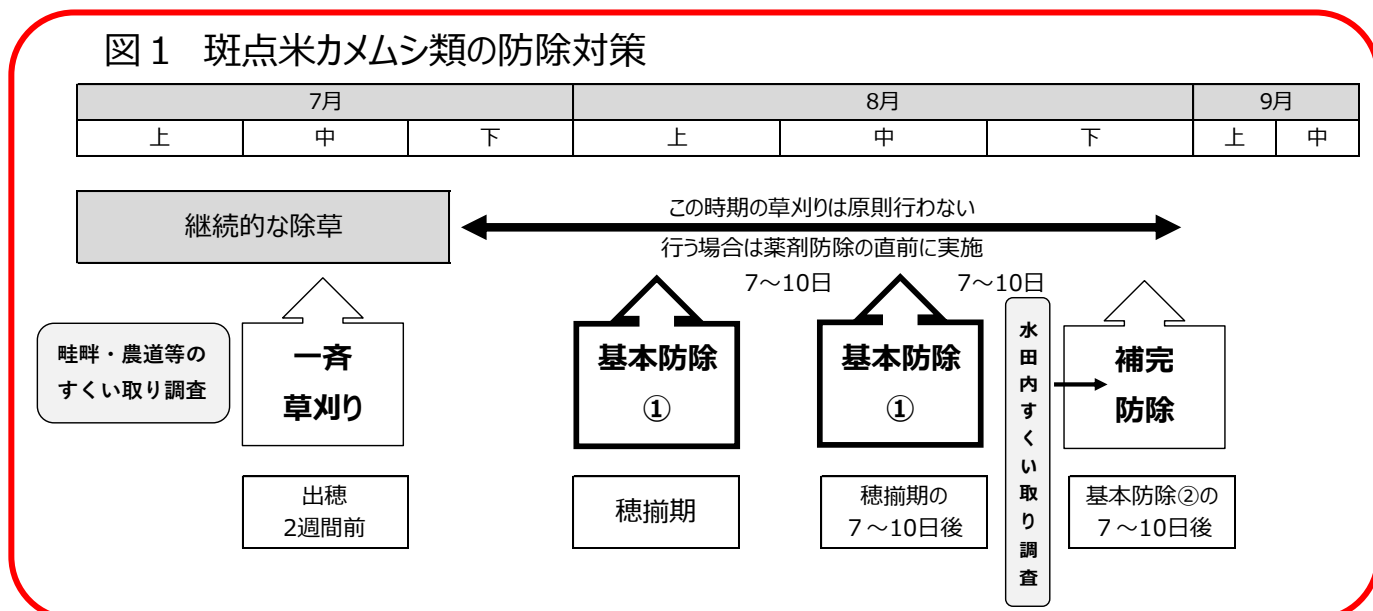
【中干し後の水管理】

- ☑ 中干し終了後は、走り水で**飽水管理**(足跡に水がにじみ出る程度)した後、**徐々に** **間断かん水** (2日湛水、2日落水) に切り替え、根の活力維持に努めましょう。
- ☑ 今年も水不足になることが懸念されるため、節水管理を心掛け、かけ流しによる水管理は絶対に行わないようにしましょう。

【斑点米カメムシ類対策】……今年もカメムシの発生量が多い！

- ☑ **7月中旬**まで継続した草刈りを徹底しましょう。
- ☑ 8月中の草刈は行わず、今後は防除を徹底して行い、カメムシの被害を抑えましょう。
- ☑ **地域ぐるみの一斉防除**で、カメムシの被害防止を図りましょう！！

図1 斑点米カメムシ類の防除対策



【いもち病対策】…感染好適日が発生！！

- ☑ 圃場を定期的に見回り、いもち病の早期発見と適切な防除に努めましょう！
- ☑ 育苗箱施用薬剤の持続効果は7月上旬頃までです。
→ **7月中旬以降は早めに予防剤を散布しましょう!!**
- ☑ いもち病の発生が確認されたら、**治療効果のある薬剤**で発生初期に防除しましょう!!

止葉に発生した葉いもち病斑



**農作業事故、熱中症に要注意!! 農薬
適正使用を徹底!!**